

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日	同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
期末配当金受領株主 確定日	3月31日	上場証券取引所	東京証券取引所 (市場第一部)
中間配当金受領株主 確定日	9月30日	公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.sra-hd.co.jp/e-koukoku/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
定時株主総会	毎年6月		
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		

【お知らせ】

株券電子化によるご注意

- (1) 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主優待制度のご案内

優待内容

株主の皆様の日頃からのご支援に対し感謝の気持ちを込めまして、年1回、「おこめギフト券」を株主優待として贈呈いたします。



優待の基準

株式保有数100株以上=3枚

対象株主

毎年9月30日現在の株主名簿に記載された1単元（100株）以上保有の株主の方を対象といたします。

贈呈期間

毎年11月下旬に発送を予定しております。

2010年3月期 第2四半期株主通信

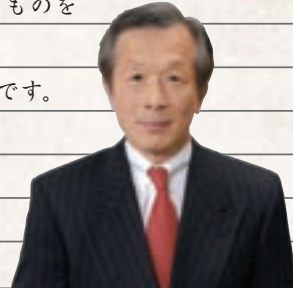
2009年4月1日～2009年9月30日

株主の皆様へ

2010年3月期第2四半期は、一部で景気持ち直しの動きがみられたものの、引き続き、企業収益の大幅な減少などにより依然として不透明な状況で推移しました。IT投資抑制の継続等により、厳しい事業環境が続いている中、当社グループの業績は次のとおり減収減益となりました。

- 前年同期に比べ減収ですが、売上高は業績予想値を上回りました。
- ①売上高の減少 ②主要顧客である証券業の受注単価が想定以上に下落 ③検収時期が下期の仕掛りプロジェクトにおいて顧客の要望に対応することにより多額の費用が追加発生する恐れがあるものを工事損失引当金として計上、等により粗利益が減少しました。

配当につきましては、株主様への利益還元を優先し、1株当たり40円を維持する予定です。今後とも、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

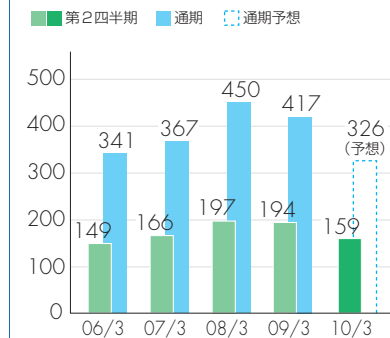


代表取締役社長 鹿島 亨

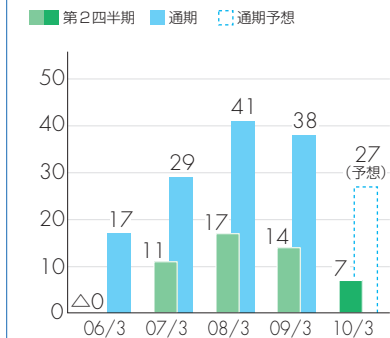
2009年11月

■連結財務ハイライト

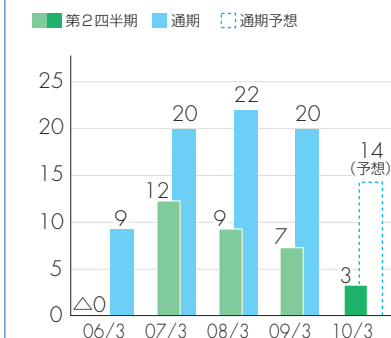
売上高 (単位:億円)



経常利益 (単位:億円)



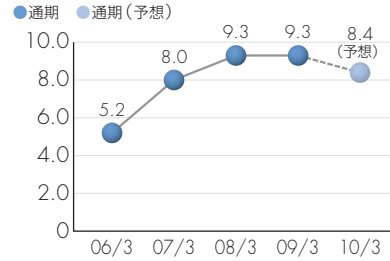
四半期(当期)純利益 (単位:億円)



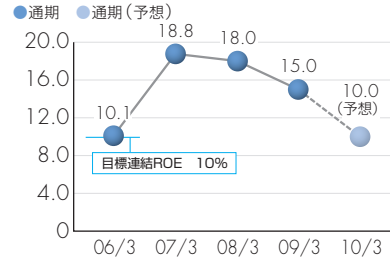
技術センター売却益9億円を計上しています

(注)1. 2010年3月期予想は、2009年5月に発表したものです。業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。したがって、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により、実際の売上高および利益は当該予想と異なる結果となる可能性があります。
(注)2. 2006年3月期以前は株式会社SRAの連結実績。

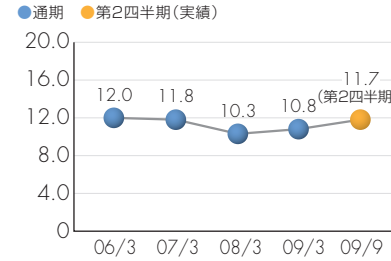
連結売上高経常利益率 (単位:%)



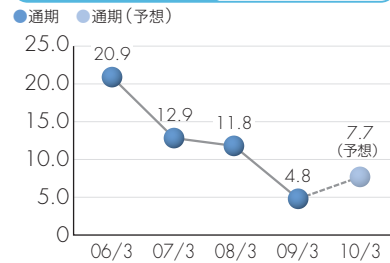
連結自己資本当期純利益率(ROE) (単位:%)



連結販管費比率 (単位:%)

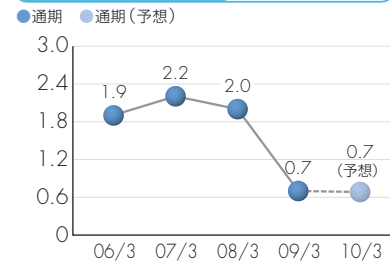


PER(株価収益率) (単位:倍)



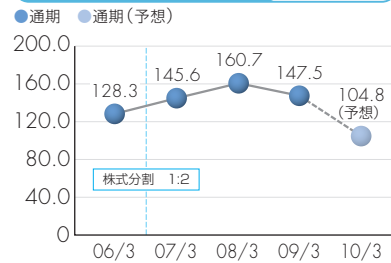
PER=各期末当社東証終値÷1株当たり当期純利益
※2010年3月期のPER、PBR、EPSの算出に係る株価は2009年9月期の末日の終値を使用し、収益等は2010年3月期の予想値を使用しております。
※2006年3月期以前は株式会社SRAの連結実績。

PBR(株価純資産倍率) (単位:倍)

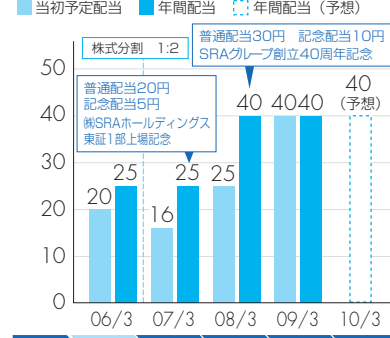


PBR=各期末当社東証終値÷1株当たり期末純資産
※2010年3月期のPER、PBR、EPSの算出に係る株価は2009年9月期の末日の終値を使用し、収益等は2010年3月期の予想値を使用しております。
※2006年3月期以前は株式会社SRAの連結実績。

EPS(1株当たり当期純利益) (単位:円)



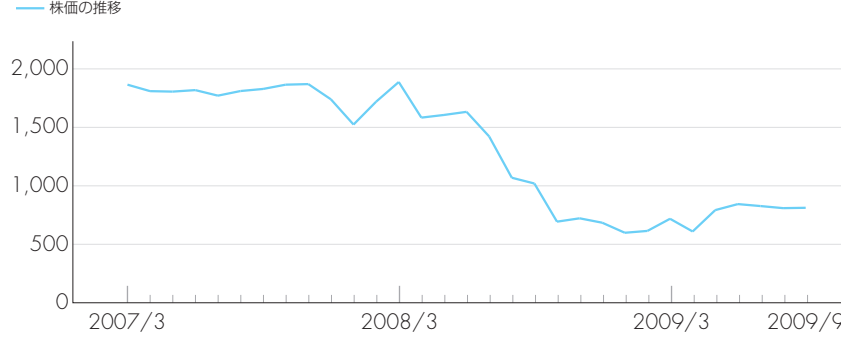
1株当たり配当金 (単位:円)



配当性向(%) 33.2 > 23.7 > 24.9 > 27.1 > 38.2
単体配当性向30%目標 連結配当性向20%目標

※2010年3月期予想は、2009年5月に発表したものです。業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。したがって、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により、実際の売上高、利益、各指標および配当は当該予想と異なる結果となる可能性があります。

株価チャート (単位:円)



当第2四半期の業績のポイントと今後の計画につきまして、
鹿島社長より皆様にご説明いたします。

01 第2四半期は減収減益ですが、
2010年3月期通期業績予想を変更
しないのはなぜですか？

第2四半期において計上した工事損失引当金については、国際会計基準の時価主義の流れを理解しダウンサイドリスクを積極的に早期に開示するというスタンスで計上したのですが、顧客との交渉により発生費用圧縮の可能性も十分残されております。工事損失引当金は、今年度から始まったものであり、従来の仕掛け評価損が実際に発生した損失実績を計上するものとは全く異なった概念です。現在、第2四半期におけるグループ各社の粗利益計画の達成状況を踏まえ、リカバリー計画を推進しています。従って、現時点では通期の業績予想は変更していません。

02 リカバリー計画について、もう少し
詳しくお聞かせください。

第2四半期までの粗利益は、グループ全体で見ると
ほぼ計画どおりとなっていますが、グループ会社によ

り達成状況に差があります。また、第2四半期までの計画は、厳しい事業環境を前提にした最低限の目標です。粗利益の上期目標を達成できなかった会社はその未達分を下期に取り戻し、粗利益の上期目標を達成した会社はその分を年度でも維持するようグループ会社全社で、リカバリー計画を策定しました。新規ビジネスの推進、案件管理の徹底・強化による受注・売上の拡大と、生産性向上、未配員削減、オフショア開発推進等による売上原価圧縮を図ります。

03 海外ビジネス収益機会拡大の布石の
ためにどのような施策を講じている
のですか。

近年、急速な成長を続ける中国IT市場を始めとする海外におけるビジネス収益機会拡大のための将来への布石として、いくつかの施策を講じています。詳細は右ページをご覧ください。

○海外ビジネス／中国ビジネスの収益機会拡大に向けて

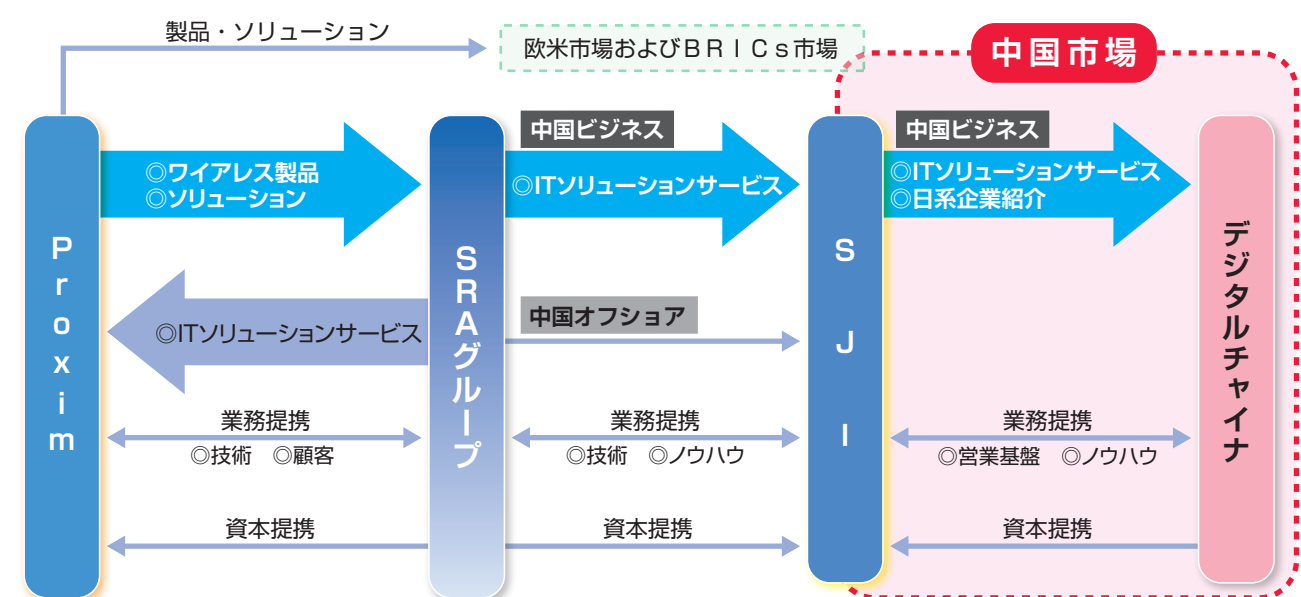
布石 <第一歩>

- ★ SJIと業務・資本提携（2009年2月） ⇒中国オフショア/中国ビジネス展開
- ☆ SJIとデジタル・チャイナ・ホールディングス(中国最大手IT企業)グループが業務・資本提携
- ★ SJI保有自己株式を取得／業務提携強化(2009年11月) ⇒中国ビジネス加速

布石 <次なる一歩>

- ★ Proxim社と業務・資本提携（2009年8月）
⇒ SRA OSSを中心にSI+無線通信分野 (WiMAX等)へ事業展開
<市場= 欧米+BRICs(有望市場)>

●業務提携概念図



2009.2.25付 株式会社SRAホールディングスと株式会社SJIホールディングスとの業務・資本提携に関するお知らせ
 2009.8.14付 SRA OSS, Inc. と Proxim Wireless Corporation との業務・資本提携に関するお知らせ
 2009.11.4付 株式会社SJI保有の自己株式取得と業務提携関係強化に関するお知らせ
 のニュースリリースをご参照ください。

SRAグループの特徴

どこのメーカー／ユーザーにも属さない「独立系」だから・・・
お客様にとって最適な選択肢を提供できる！

「独立系」のメリットを活かし、ハードウェアでもソフトウェアでも、特定のユーザーやメーカーに偏ることなく、**中立な立場で真に最適な選択肢を提供**することができます。これは、お客様にとっての最大のメリットであり、私たちSRAグループの存在価値であると考えています。



SRAグループの3つの強み

SRAグループは3つの強みを活かして次のステージでの展開をめざします。
 3つの強みを活かしてITに求められる「スピード」、「クオリティ」、「コスト」を満たすシステムを提供し、お客様の競争力強化、成長および収益の向上に貢献するよう努めています。

技術先進性

創業以来、「技術のSRA」としての定評があります。最近では、注目度の高いオープン・ソース・ソフトウェア、SOA、SaaSへの展開においても技術優位性を確立するとともに、先進技術を活かした新しいビジネスの創出、新規事業の立ち上げにも取り組み、着実にその成果をあげています。また、品質および生産性の向上にも先進技術を活用しています。

優良顧客基盤

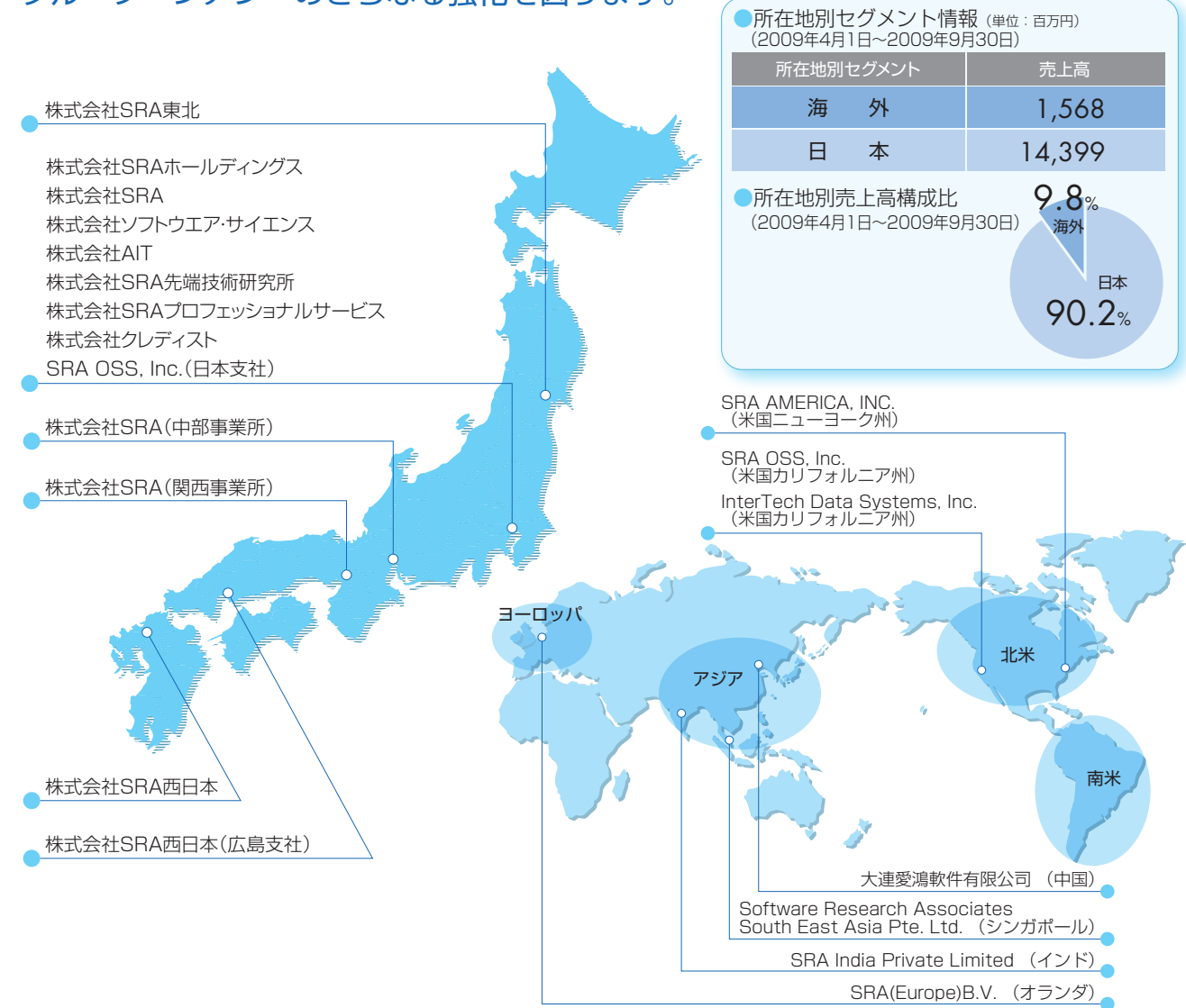
金融、製造、流通等の**各業界のリーディングカンパニーを始めとする大企業、中堅企業をお客様とし**、継続的・安定的なビジネスを展開しています。また、IT技術を駆使している新規の優良なお客様に対しても、案件マネージメント強化と顧客セグメント別マーケティングを実践し、ビジネスを拡大しています。

グローバル・リーチ

業界に先駆けて海外拠点を設け、アメリカ、ヨーロッパ等の海外ネットワークにより、日系グローバル企業・現地企業のお客様に対して、**高付加価値のグローバルサポートサービスを提供**しています。また、収益性の向上を目的に、インド・中国のオフショア開発を積極的に推進しています。さらに、インド・中国/アジアをビジネス市場としても捉え、ビジネス展開を図っていきます。
 (詳細はP6をご参照ください。)

グローバル・リーチ

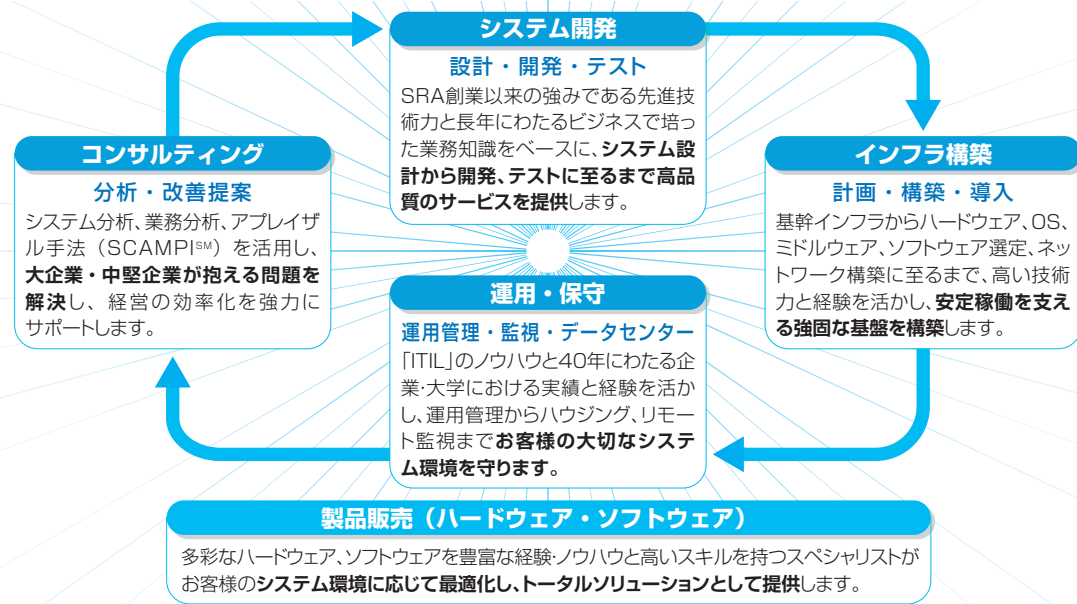
SRAグループは国内・海外のネットワークを活用しグループ・シナジーのさらなる強化を図ります。



事業の特徴

システム・ライフサイクル

SRAグループは、コンサルティングからシステム開発、インフラ構築、運用・保守に至るITシステムのライフサイクル全般において、高水準のサービス・製品を提供しています。



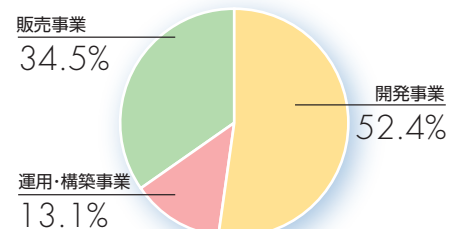
事業別セグメント情報

事業セグメント別売上高の推移（単位：百万円）

事業セグメント	項目	2010年3月期		2009年3月期
		当第2四半期	前第2四半期	前期
開発事業	売上高	8,368	10,679	22,837
	営業利益	764	1,634	3,926
運用・構築事業	売上高	2,091	2,471	5,078
	営業利益	470	557	1,279
販売事業	売上高	5,506	6,279	13,861
	営業利益	317	543	1,110

（注）営業利益は、セグメント間の内部取引を含んでおり、配賦不能な営業費用を含んでおりません。

売上高構成比
（2009年4月1日～2009年9月30日）



連結財務諸表

●連結貸借対照表

（単位：百万円）

	当第2四半期末 平成21年9月30日現在	前期末 平成21年3月31日現在
資産の部		
流動資産	19,570	21,599
固定資産	6,146	4,920
有形固定資産	192	202
無形固定資産	451	429
投資その他の資産	5,502	4,287
資産合計	25,717	26,519
負債の部		
流動負債	6,954	7,999
固定負債	4,385	4,356
負債合計	11,339	12,355
純資産の部		
株主資本	13,909	14,107
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	4,483	4,483
利益剰余金	9,319	9,518
自己株式	△ 894	△ 894
評価・換算差額等	343	△ 61
その他有価証券評価差額金	470	60
為替換算調整勘定	△ 127	△ 121
新株予約権	89	83
少数株主持分	35	34
純資産合計	14,377	14,164
負債・純資産合計	25,717	26,519

●連結損益計算書

（単位：百万円）

	当第2四半期 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	前第2四半期 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで
売上高	15,967	19,430
売上原価	13,409	15,585
売上総利益	2,557	3,844
販売費及び一般管理費	1,869	2,404
営業利益	687	1,440
営業外収益	55	63
営業外費用	33	48
経常利益	709	1,455
特別利益	0	—
特別損失	43	34
税金等調整前四半期純利益	665	1,420
法人税、住民税及び事業税	383	775
法人税等調整額	△ 73	△ 75
少数株主利益	0	8
四半期純利益	355	711

●連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	当第2四半期 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	前第2四半期 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,177	△ 405
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,466	△ 200
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 584	△ 341
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	△ 22
現金及び現金同等物の増減額	△ 869	△ 969
現金及び現金同等物の期首残高	11,753	11,265
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,883	10,296

IRインフォメーション

個人投資家の皆様に会社説明会を実施。

当社はIR活動の一環として、個人投資家向けに毎年会社説明会を実施しております。今期は2009年7月11日に、大和コンファレンスホールにて実施いたしました。当日は約240人の個人投資家の方々にご出席いただき、鹿島社長より当社の強みや取り組みについて説明いたしました。



ご出席の皆様から多くのご質問をいただきました。この場を借りまして、株主の皆様にもいただいたご質問のうちの1つをご紹介します。

Q オープンソースソフトウェアについて、わかりやすく教えてください。

A オープンソースソフトウェア(OSS)とは、ソースコードが開示されているとともに自由に配布できるソフトウェアのことで、ソースコードを読むことができれば、誰でも自由にその内容に手を加えて改良し、使うことができます。ただし、ソースコードを読んで正しく理解し、その内容に手を加えることができるエンジニアは極めて少数です。世界中の優れたエンジニアがソフトウェアの性能や使い易さの向上のために改良を行い、バージョンアップを重ねているため、商用ソフトウェアと比較しても遜色ないレベルのOSSが多く存在しています。SRAは、OSSにおける長年の経験と高い技術力を有し、OSSを基盤としたビジネスを推進すると共に、OSSの先進技術を活用した製品化も行っています。

オープンソースデータベース

「PostgreSQL」

⇒自社製品「PowerGres」
(PostgreSQLを使いやすくし、サポートも充実)



オープンソースメールソフト

「Sylpheed」

⇒自社製品「Sylpheed Pro」
(高速な全文検索を実現する個人向けメールソフト)



OSSで構成された自社製品

「MailDepot」

(コンプライアンス対策に最適なメールアーカイブ製品)



IRメール配信サービスを実施しています!

社長からのメッセージを株主の皆様にお届けします。ご希望の方は当社の投資家情報ウェブサイト内の「IRメール配信サービス」よりご登録をお願いします。

<http://www.sra-hd.co.jp/ir/>

メール配信サービスをご希望の方は上記アドレスよりご登録ください

ご登録いただきました情報は、当社からのIRメール配信サービスの目的にのみ利用させていただきます。当社の厳重な管理の下で保管させていただきます。個人情報に関するお問い合わせは下記までご連絡いただきますようお願いいたします。

お問い合わせ先 株式会社SRAホールディングス 管理本部 IR担当 TEL: 03-5979-2666

携帯電話にも配信可能です!

PCだけでなく、携帯電話にも同一の内容を配信することが可能です。登録方法は以下の通りです。

1. 右記のバーコードを携帯電話のバーコードリーダーで読み取り。
2. 読み取ったアドレスに空メールを送信。
3. 登録完了!次回配信日より携帯電話宛にメール配信を行います。



株式の状況・会社概要 (平成21年9月30日現在)

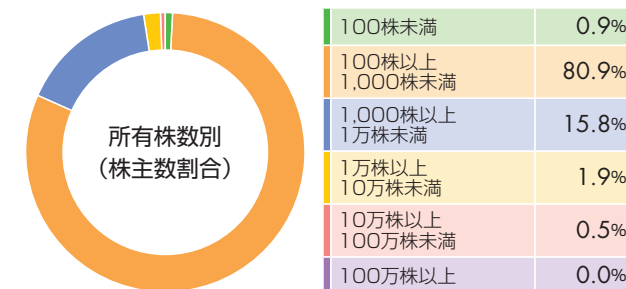
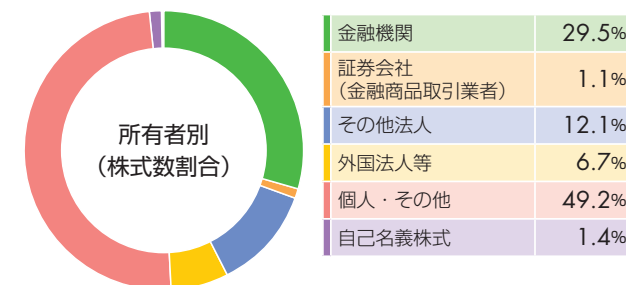
●株式の状況

発行可能株式総数	60,960,000株
発行済株式総数	15,240,000株
株主数	4,760名

●大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
丸森隆吾	2,189	14.3
株式会社SRA	1,190	7.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	949	6.2
SRAホールディングス社員持株会	604	3.9
第一生命保険相互会社	564	3.7
株式会社三菱東京UFJ銀行	560	3.6
日興シティ信託銀行株式会社(投信口)	423	2.7

●株式分布状況



●会社概要

商号	株式会社SRAホールディングス SRA Holdings, Inc.
本店所在地	東京都豊島区南池袋二丁目32番8号
設立年月日	平成3年1月28日
資本金	10億円
主要な事業内容	システムの開発事業、運用・構築事業 および販売事業を営む事業会社の統括管理
従業員数	1,738名(連結)

●役員

代表取締役会長	丸森隆吾
代表取締役社長	鹿島亨
常務取締役	谷野寛
常務取締役	富田博
常勤監査役	室伏仁
常勤監査役	小川浩
監査役	櫻井通晴
監査役	竹谷智行
会計監査人	太陽ASG有限責任監査法人

お知らせ

株主通信を最後までお読みいただき、誠にありがとうございました。次回の第3四半期株主通信の発行は2010年2月下旬~3月上旬を予定しております。厳しい受注環境が続きますが、グループ一丸でリカバリー計画を推進していきますので、今後とも、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

SRAグループ一同